

## 第16回香川支部学術集会

学術集會会長：社会医療法人財団大樹会総合病院回生病院

病院長 鎌野周平

2017年3

月4日(土)、回生病院講堂を会場にメインテーマ『試される危機管理能力～チーム医療にできること～』を



会場風景

掲げ、第16回香川支部学術集会を開催しました。

東日本大震災から数えて6年目を目前に控え、当時「想定外の災害」と言われた東日本大震災を教訓として、近未来的に起こる南海トラフ地震を「想定内の災害」と位置づけ、私たち香川県の医療従事者は国や県市町村の行政とともに災害時の対応の準備をしています。そこで今回を災害医療に重点を置く学術集会とさせていただきました。特別講演として、神戸学院大学 現代社会学部社会防災学科教授 中田敬司先生から『危機管理(ダリトメソッド)と災害時の組織論について』という演題で、危機管理のノウハウについてユーモアを交えて分かり易く講義していただきました。災害医療以外にも、チーム医療・医療安全・感染管理・医療連携・その他のセッションに、県内全域と一部徳島県からも117名の参加者と26題の演題を頂き、病院内の職種を超えて終了時まで活発な討議がされ盛会となりました。

第16回学術集会を盛会のうちに終了することが出来ましたのも、ひとえに香川支部支部長 藤本 俊一郎先生をはじめ関係者の皆様方の御支援のおかげと存じております。心からの謝意を申し上げ、開催の報告とさせていただきます。

## 第19回熊本支部学術集会

学術集會会長：医療法人社団寿量会熊本機能病院

理事長 米満 弘一郎

2017年3月18日(土)、くまもと県民交流館パレアにて第19回熊本支部学術集会を開催いたしました。テーマは「新しいチーム医療～すべての答えは現場に～」。熊本地震後、初めての開催で演題応募を心配いたしましたでしたが、関係皆様のご尽力で、一般演題150題、当日参加者403名と多くの皆様にご参加いただきました。震災セッションでも多くの現場目線の発表があり後世に残せるものでありました。シンポジウムは、近

年現場を悩ます医療倫理について「医療標準化と現場倫理のジレンマはこうやって解決する」

と題し宮崎大学 板井 孝彦郎教授に、病院での先進的なチーム医療、往診医療などのmedical base camp (MBC)について、佐賀県の織田病院理事長、織田正道先生をはじめシンポジストの先生方にご講演いただきました。座長賞や学術集會会長賞、託児所などの工夫は好評でした。新しい学術集會となりましたことに深く感謝申し上げます。



会場風景

## 第6回埼玉支部学術集会

学術集會会長：埼玉医科大学国際医療センター病院長 小山 勇

2017年

3月19日

(日)に埼

玉県県民

健康セン

ターにて、

「医療の質

向上を目指

す取組み」

をメイ

ンテーマに第6回埼玉支部学術集会を開催いたしました。特別講演では「医療の質から見た病院管理」をテーマに、聖路加国際病院の福井次矢病院長から質指標(QI: Quality Indicator)の測定やQIセンターの設置意義などについてお話しいただきました。パネルディスカッションでは「ガバナンス・リーダーシップによる病院管理」で国際的な病院機能評価であるJCI認証を受けられた病院のリーダーからグローバルな視点で病院マネジメントについてお話しいただき、「チーム医療による医療の質向上を目指す取組み」では、医療安全チームや褥瘡チームをはじめ、横の繋がりである院内多職種チームによる取り組みの発表があり、熱心な討論が行われました。当日は61題(口演・ラウンドテーブルディスカッション26題、ポスター発表35題)の演題発表がなされ、258名の方の積極的な参加により、盛会のうちに終了いたしました。



会場風景